

## 「ならなぎ」例会結果報告書

報告者： 義田純一

日時	2025年6月5日(木) 10時～12時	天候	晴	コース名：山の日・川の日コース
参加者 計33名	1班：青木(茂) 青木(恵) 上森 久賀田 菅根 堀内(け) 堀野 村上 吉川 義田 (計 10名) 2班：木邨 澤井 武田 竹山 玉尾(洋) 近野 服部 古莊 森 山口 (計 10名) 3班：池田 奥山 北川 嶋田 杉林 高橋(勝) 高橋(円) 玉尾(ひ) 西本 橋本 福島 渕 山岡 (計 13名)	リーダー		1班：青木(恵) 堀野 2班：木邨 古莊 3班：高橋(円) 福島

(所感・雑感・反省点、など)

[1班]

- ・梅雨前のお天気は暑くて半日でちょうど良かった。国立博物館の長蛇の行列にはびっくりした。リーダーの青木さんはベテランで言う事なし。ただルリセンチコガネが見つかるかどうか不安。子供には本物を見せてあげたいと私はおもいます。ティカカズラが満開でした。
- ・猛暑を?覚悟していたが、さほどではなく、助かりました。堀野リーダーは一生懸命に山・川の日の練習されていました。お疲れさまでした。
- ・青木リーダーのアナログな資料が次々に飛び出すのは感動でした。子どもたちは喜ぶと思いますね。
- ・瑠璃センチコがねを液体の中で保存されたのはアイデアですね。その他もたくさん教えていただきました、ありがとうございます。
- ・今日は、気温が高くなるという予報だったので、心配しました。しかし、コースは、日陰が多いのであまり苦にはならなかった。今後スジエビは、現れると思うが、ルリセンチコガネは、難しいだろうなと思いました。ルリセンチを目当てに来る子ども達のことを考えると気が重くなります。
- ・きょうは、班の人数が少なく説明しやすかったです。ムクロジの所で通りがかりの方が「この木何ですか」と聞いてこられムクロジの泡立てをしてもらいました。その時の驚いた様子が新鮮で良かったです。山の日川の日の説明も興味を持って聞いてくれるよう工夫したいです。ありがとうございます。
- ・今日の山の日川の日コースは、子供達にとって新発見の事柄が盛りだくさんあるコースだと思います。興味を持ってもらえるよう、工夫した案内を考えておられました。楽しんでもらえるといいですね。
- ・青木さん、準備物ありがとうございました。心配な事はたくさんありますが、ルリセンチは子供の期待が大きいだけにガッカリする顔が目に浮かびます。映像で見ていただく方法よろしくお願ひします。
- ・日差しのきつい日中だったが木陰に入ると爽やかな例会だった。たくさんの資料の準備をしておられたのでどのように使うかで、リーダーの個性が光ると思った。リーダーは、子どもに分かりやすい言葉を選んで親しみやすい案内を心がけていた。
- ・堀野リーダーお疲れさまでした 少し説明や資料提示に手間取った感じがします 本番まで一ヶ月ありますので宜しくお願ひします。気温が高い日でしたが湿度が低く、気持ちの良い例会でした。

[2班]

- ・ドングリ、セミの抜け殻は見つからなかった。
- ・セミの抜けがらは時期柄はみつけられなかつた。当日はあれば良いなと思いまし。
- ・きむらさんの説明はわかりやすく良く理解できました。  
初めにルリセンチコガネの説明を子供達にどのように話すかが難しいと思います。
- ・天候に恵まれあまり暑すぎず、過ごせた。5人と人数も適當 時期が早かったからか、どんぐり抜けがらがまだであった。予想通りルリセンチコガネは見当たらなかつた。飛火野でエコサイクルの話の進め方の工夫が必要と思う。
- ・ムクロジの説明で、羽根ツキを実演した方が判りやすいとの意見があつた。多分親子ともしらないの

かも知れない。ルリセンチは本物を見せることができないのが残念であるが、写真と動画で紹介できれば良いと思う。

- ・午前中は暑くもなく寒くもなく良い気候の中を気持ちよく回ることが出来た。ルリセンチコガネがもう飛火野では見つけることが出来ないのが残念ですが、まだまだ奈良公園はいろんな自然や生き物が残っているし、大事にしていきたいものです。
- ・暑い日でしたが陰は涼しく一つの班を二つに分け少人数に分かれたのでまわりやすかったです。イチイガシのドングリがまだ小さすぎたり、蝉の抜け殻が早過ぎてなかつたりでしたが7月の本番はドングリが生長したり蝉の抜け殻が見つけられたりすると思います。実践したのはルリセンチコガネ探しで、見つけられなかつたことです。年々見つけることが難しくなっています。来年度からルリセンチコガネと名前を限定しないでコガネムシを探そうと糞虫全体を探すようにしたら糞虫が見つかる幅が広がると思います。
- ・本日の山川コース、キムラさんお持ちの豊富な資料と名解説で時間配分もピッタリでとても良かったでした。本番もこの通りゆけばと思っていますが、やはり心配なのはスジエビとルリセンチコガネの実物を見せれるかということ！まあ、こればかりは当日の天候次第ですね！！
- ・久しぶりにならなぎ例会に参加しました。奈良は国立博物館の長い行列、修学旅行生や外国の観光客などで大変な賑わいです。今日は古荘さんのチームで例会に参加しました。まだ、6月に入ったところなので蝉の抜け殻もスジエビも見つからずに終わりました。糞虫に関しては、ルリセンチコガネに拘らず、奈良公園に住む昆虫のおかげで鹿との共存が可能になっている事を子どもたちに知らせることも大事かなと思います。
- ・青空のもと、邨ちゃんリーダーの案内で楽しく半日歩けました。メンバーも幼稚園・保育園、小学校低学年など異年齢の子どもになり、リーダーさんを先頭に山の日川の日の宝探しコースを下見、予行を兼ねてまわる貴重な時間となりました。子どもさんにも解る言葉を皆で検討したり、羽子板など今の子どもに解るだろうか？など内容についても意見を出し合いました。木邨リーダーは異年齢の子どもの言葉をうまく拾い上げ、否定せず褒めながら案内を進められ、さすがだなあ！見習いたい！と思いました。ありがとうございました。

### [3班]

- ・リーダーの説明が懇切丁寧で良かった。
  - ・久しぶりの子どものコース。リーダーの福島さんのていねいな説明や行き届いた資料など勉強になりました。スジエビ、ルリセンチコガネが案内当日に観察出来ることを祈ります。”
  - ・楽しく、詳しい説明ありがとうございました。高橋さん
  - ・福島浩子さんは始めてお会いした人でした。リーダーは慣れて居られ説明は解り易い言葉でした。去年は参加されてなく、今年始めての参加だった様です。ならなぎの奥深さを感じました。
  - ・高温が予想される中、日影と風のお陰で気持ちよく参加出来ました。先生役のリーダーに「たかはし君」と呼ばれて、小学生になった気分で歳ながら良い気分で歩かせて貰いました（笑）。
- 先生から
- (1)無患子の葉は複葉
  - (2)無患子の大木の上の竹の成り立ち
  - (3)無患子の実からの石鹼・消火剤
  - (4)藤棚の下、足元の木漏れ日を見ながら、鹿の子模様の保護色（模様）
- との説も等々、他もたくさん学ばせていただきました。参加して良かったです。ありがとうございました。
- ・楽しかった宝探し、福島リーダーのお話は今更ながら勉強になります。子供たちも喜んで自然について学習するでしょう。スジエビたくさん捕れるといいな！と思います。
  - ・初夏の陽気のもとで飛火野の自然を満喫しました。お子さんにも理解しやすい平易な言葉使いで説明されているリーダーさんの気配りに感心しました。鹿の出産ラッシュでしょうか、例年にも増して鹿の親子連れの姿をたくさん見かけました。
  - ・今日の半日例会は風も有り過ごしやすかった、ルリセンチコガネは見つからなかつたが、ティカカズラの花が満開だった、リーダーお疲れ様でした。
  - ・最近は、鹿が安心して子供を産んだり、生まれたばかりの赤ちゃん鹿が隠れている場所が少なくなつ

たとのリーダーの説明を聞き心配になりました。今日は小鹿には会えないのかなあと飛火野を歩いていると、なんと5頭の赤ちゃん鹿が寄り添って立っていました。雌鹿も1頭いて、その子供らしい小鹿はお母さんの後をずっと追っています。他の小鹿達も飛んだり跳ねたりしながら側で遊んでいるようでした。その可愛らしいこと！見ていて幸せでした。

- ・暑くなった。半日でよかったです。リーダーさん、ご苦労さま。
- ・観察、確認しながら 子ども達へ伝える事、伝え方を皆で考える良い時間を持つことが出来ました。今回のサプライズ…子ジカ集団に遭いその可愛さに見とれました。又、いつも細やかな配慮の準備物を用意して頂き ありがとうございました。
- ・暑い時期なので、木陰を探しての案内を心掛けました。鹿、ドングリ、セミ、ルリセンチコガネ等々 内容は盛りだくさんですが、限られた時間内に子供たちに何処まで伝えればよいのか…その場の状況を見て臨機応変にということですが、難しいですね。説明中に声が擦れる場面が時々あり、聞き取りにくかっただろうと申し訳なく思いました。体調管理の大切さを改めて痛感しました。
- ・鹿の出産のシーズンの中 小鹿を多数見る事が出来た、鹿の子模様が森の木漏れ日もカムフラージュとなる、雄鹿の袋角と年齢の判断 あと樹木に対する知識が豊富でコースポイントとは合致しないけど知識が増え、楽しめました。

(特記事項・申送り事項・開花状況など)

- ・ルリセンチコガネが見つからないのが残念との声が多かった中、高橋(円)リーダーから日本に生息している糞虫は約160種で、飛火野には約40種類がおり糞虫の王国といわれている。ルリセンチコガネにこだわらずに、他の糞虫を見つけて生息していることを示し、飛火野のエコサイクルの一役をいろんな糞虫が担っていることを説明するのも大事ではとのご意見をいただいた。